

イメージソング・セットリスト

ノベライズ第1話 ネ森少年の飛翔

【シリーズ1】

感性に響く教養講座（NVNG感性）では、

①教科書 芸術とコンピュータ*1, ②ノベライズ ネ森少年の飛翔*2, ③イメージソング・セットリスト, の3つの作品が並行して進展するように構成されています。したがって、これらの作品に目を通されると相乗的な効果が得られると思いますが、それぞれを独立した著作物として捉えていただいても問題はありませぬ。皆様の好みに併せて、或いは、その時の気分に応じて、気軽に読んでいただければ幸いです。

それでは始めましょう。

①については、ユニット1-1「人生設計と時間」(pp.9-16)が対応します。

②については、シリーズ1, 2, 3が該当します。

ネットの森に住む少年は、「ネ森少年」と呼ばれるようになりました。その訳は、ノベライズ「ネ森少年の飛翔」に譲ることにしましょう。

シリーズ1 recitativo:叙唱 ～人生の種々の不安からの旅立ち～

このシリーズでは、オペラのように始まります。recitativoとは叙唱のことで、今から始まる物語の説明として最初に唱われます。例えば、

♪♪ 僕は道を歩いていたの／ふと下を見れば／“石ころ”が転がっていたんだ／
それは僕に語りかけているようで／気がつけば、それを拾っていたの／このことが／
僕の「人生の節目」になるとは／思いもよらないことだった／ ♪♪

というように、…

そこで、このシリーズでは、表1に示す10個の楽曲を選定しました。最初はdiary(日記)から始め、筆者が感じる曲想としては、「将来の不安」を揚げ、その不安から出てきたものを「物語の終わりはどこへ」としました。

表1. シリーズ1のセットリスト

No.	楽曲 (アーティスト)	曲想	Arts-ist から一言
①	Diary (SEKAI NO OWARI)	将来の不安 物語の終わりはどこへ	運命を蹴とばす勇気をもとう
②	僕のこと (Mrs.GREEN APPLE)	僕の何かに対する不安 同世代への同情や共感	明日のために生きよう
③	Letter (SHE'S)	大人になることへの不安 自分へのメッセージ	優しさを探しに行こう
③	いつか (SaucyDog)	2人の物語から生じる不安 後悔じゃ何も解決しない	景色を互いに共有してみよう
④	愛にできることはまだある かい (RUDWINPS)	運命を気遣う不安 愛にできることはまだある	綺麗と言われるように生きよう
⑤	MOIL (須田景風)	永遠の無垢に対する不安 大人になってしまった	自分の思いをしっかりと伝えよう
⑦	脱せ (映秀)	大丈夫という不安 今日までの自分	大人になるために脱しよう
⑧	ブルーベリー・ナイト (マカロニえんぴつ)	気づくことへの不安 そんな自分も好きなんだ	一時の自暴自棄を超えて行こう
⑨	ツキミソウ (Novelbright)	出会いと別れの不安 流した涙の意味	自分に素直になろう
⑩	水平線 (back number)	人間関係の不安 大人になる君への言葉	自分を知るために努力しよう

では、それぞれの楽曲をみてみよう。

①は、Recitativoに相応しく、シリーズ全体をカバーするように展開します。子供から大人になって自らの物語を日記として書き留めるために。困難なことが起こってもその運命を蹴とばすくらいの精神力をもってほしい。

②は、まさに僕のこと。僕の何かを追求しながら、その何かに対する不安を感じます。これは同世代の共通するものなのかどうかと気にかかりますが、それは大人になることへの不安でもあります。明日のために生きることに関注してほしい。

③は、自分へのメッセージです。大人になるための何かを探しながら、それが優しさだと気づくまで。

④は過去の自分を振り返り、後悔では解決できないことを知り、景色を互いに共有することが大事なのでは。

⑤は運命を気遣い、それを愛で解決できないかという思いがまし、ではその愛という自分でできることは何だろうと考えてしまう。自分の生き方が美しいと言われるようになりたいのだけれど。

⑥は、大人になってしまったと感じる時、それが一部であっても気になりますね。永遠の無垢に対する希望や不安から、結局のところ自分の思いを作り出ししっかりと伝えたいという思い。

⑦は、大丈夫というけれどそれは本当なのかと疑問を持つとき、今日までの自分を理解しだからこそそこから脱することにしたという決意。

⑧は、気づくこと、それは自分を知ること、嫌な面もあるがそれも含めて好きなんだと言いたい自分がある。一時の自暴自棄もやがて超えられるようになるという期待。

⑨は、誰でも出会いと別れはあるもので、その度に流した涙の意味を考えて大人になる。自分に率直になることでできると思う志。

⑩は、このシリーズ最後の楽曲で水平線という人間関係の知恵で終わります。

これらの楽曲が示すように、大人になることへの不安など、これからの生活における種々の不安を乗り越えて旅立つまでの物語に対応しています。

※1 松原伸一著「芸術とコンピュータ～ICT超活用～」開隆堂、ISBN978-4-304-02186-2

※2 シナリオとは、書著^{※1}に掲載された「ネットの森に住む少年」の場面設定のことです。ノベライズとは、そのシナリオを元に小説化したもので、「ネ森少年の飛翔」を指します。